



Title	2022年度活動記録
Author(s)	
Citation	大阪大学歴史教育研究会 成果報告書シリーズ. 2023, 20, p. 72-75
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98844
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2022 年度活動記録

■大阪大学歴史教育研究会・2022 年度例会

＊所属・職名は報告当時のものである。

＊例会は全て対面とオンライン（ZOOM 使用）を併用するハイブリッド形式で行った。

＊各回の主たる講演の要旨は、研究会ホームページ (<https://sites.google.com/site/ourekikyo/>) の「活動記録（2022 年度）」に掲載している。

第 142 回例会（2022 年 4 月 16 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 1 回
秋田茂（大阪大学人文学研究科教授）

「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」

ナディン・ヘー（大阪大学人文学研究科教授）

「トランスインペリアル・ヒストリーの視座から見た日本統治下の台湾」

コメント：磯谷正行（愛知県立岡崎高等学校教諭）

「トランスインペリアル・ヒストリーに期待すること」

第 143 回例会（2022 年 5 月 21 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 2 回
安達宏昭（東北大学大学院文学研究科教授）

「日本植民地研究と「大東亜共栄圏」研究の現状」

コメント：河西晃祐（東北学院大学文学部教授）

「実践トランスインペリアル・ヒストリー：大東亜共栄圏を考える視点」

西村嘉高（青山学院高等部教頭）

「安達宏昭報告に寄せて—歴史教育実践との関係で—」

第 144 回例会（2022 年 6 月 18 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 3 回
鈴木英明（国立民族学博物館准教授）

「インド洋西海域の奴隷交易廃絶活動再考—トランスインペリアル・ヒストリーの観点から—」

コメント：森井一真（大阪大学人文学研究科博士後期課程）

「イギリス帝国における奴隷貿易廃止の受容と抵抗—1790 年代の奴隷貿易廃止法案に「反対」した人々から—」

野々山新（愛知県立大府高等学校教諭）

「アフリカ史教育実践から見たトランス・インペリアルヒストリーの可能性—世界史 B

から歴史総合、世界史探究への学びの転換を目指して―」

第 145 回例会（2022 年 7 月 16 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 4 回

平野千果子（武蔵大学人文学部教授）

「フランス植民地帝国とカリブ海世界—ディアスポラの視点から—」

コメント：並河葉子（神戸市外国語大学外国語学部教授）

「反奴隷運動のグローバルヒストリー—労働しケアする女性たちに注目して—」

笹川裕史（大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎教諭）

「トゥサン＝ルヴェルチュールとハイチ革命」

第 146 回例会（2022 年 10 月 22 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 5 回

宇山智彦（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

「ロシアの帝国意識と「反植民地主義」の歴史的位相—世界の階層構造の視点から—」

コメント：左近幸村（九州大学大学院経済学研究院准教授）

「ロシアとウクライナの関係史—拙著『海のロシア史』を中心に—」

吉嶺茂樹（北海道高等学校遠隔授業配信センター教諭）

「歴史総合のなかで「帝国」を描くために—生徒が経験した「帝国」の記憶を北海道で語り継ぐ実践から—」

特別例会（2022 年 11 月 13 日、オンライン開催）

「日本と世界が出会うまち・堺 2022」研究発表会

第 147 回例会（2022 年 12 月 17 日、大阪大学豊中キャンパス全学教育推進機構

管理・講義 A 棟 1 階共 A102 教室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 6 回

大学院生グループ報告

磯部宗志（西洋史 M1）・大畑直也（西洋史 M1）・花田光輝（西洋史 M1）・

早川涼介（日本史 M1）

「トランスインペリアル・ヒストリーの視座から捉え直すアジア系移民—中・印・日移民の多面的な役割から見る戦間期の時代性—」

足立悠輔（西洋史 M1）・井上健太郎（言語文化研究科 D2）・河野七海（日本史 M1）・

佐藤武（西洋史 M1）・田中聡一（日本文学 M1）

「トランスインペリアル・ヒストリーからみる東アジア経済成長の再考—歴史教育における戦前と戦後の「接続」を目指して—」

第 148 回例会（2023 年 1 月 28 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

江良直紀（大阪府立北摂つばさ高等学校教諭）

「世界遺産と歴史教育・歴史学」

岩崎奈緒子（京都大学総合博物館教授）

「文化財保護法・博物館法の改正をめぐって—教育がコスパで評価される時代の到来—」

第 149 回例会（2023 年 3 月 18 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 7 回
菅英輝（九州大学名誉教授・大阪大学招聘教授）

「非公式帝国アメリカと冷戦—ホプキンス著『アメリカ帝国』（2018 年）に寄せて—」

コメント：上英明（東京大学大学院総合文化研究科准教授）

「キューバにとってのアメリカ「帝国」—トランスインペリアル・ヒストリーの可能性を探る—」

西裕一郎（大分県立大分豊府高等学校指導教諭）

『パクス・アメリカーナ』の世界を教材化する試み—高校世界史教員の立場からのコメントとして—」

■教員組織・学会・自治体と連携した活動

「日本と世界が出会うまち・堺 2022」プロジェクト

堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史などにスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2022」プロジェクトについて、今年度も昨年に引き続き、特別例会という形でオンライン開催した。

大阪大学歴史教育研究会 2022 年度世話役・事務局

■代表（共同代表）

秋田 茂 （大阪大学大学院人文学研究科教授）
飯塚 一幸 （大阪大学大学院人文学研究科教授）
堤 一昭 （大阪大学大学院人文学研究科教授）

■高校・中学教員側世話役

大西 信行 （中央大学文学部特任教授）
置村 公男 （六甲中学校・高等学校教諭）
川島 啓一 （同志社高等学校教諭）
澤野 理 （神奈川県立逗子高等学校教諭）
西村 嘉高 （青山学院高等部教頭）
藤田 弘晃 （奈良県立奈良高等学校教諭）
矢景 裕子 （神戸大学附属中等教育学校教諭）
八木 啓俊 （大阪府立淀川清流高校教諭）
矢部 正明 （関西大学中等部・高等部教諭）
吉嶺 茂樹 （北海道高等学校遠隔授業配信センター教諭）

■研究会事務局

猪原 達生 （大阪大学大学院人文学研究科特任研究員／東洋史学）
野口 駿之介 （大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／西洋史学）
谷垣 美有 （大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／西洋史学）
北山 航 （大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／日本史学）